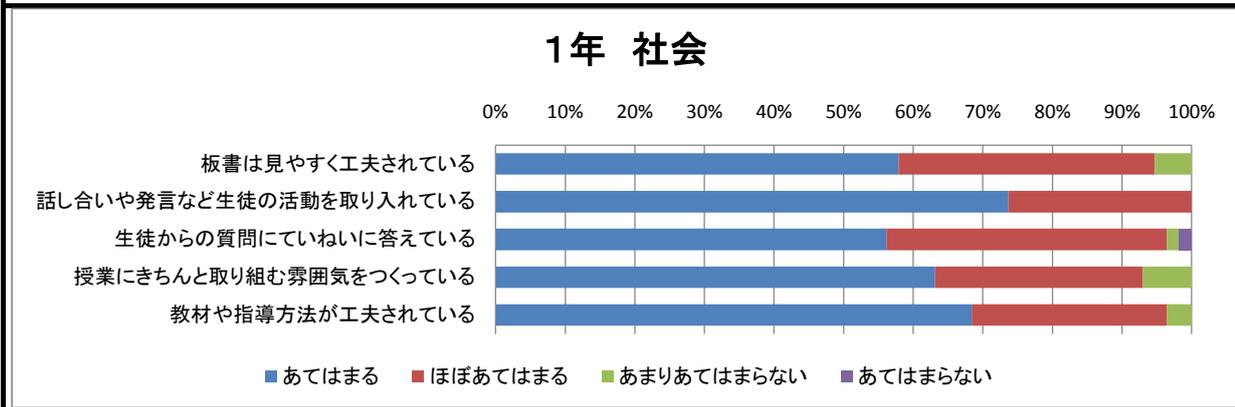


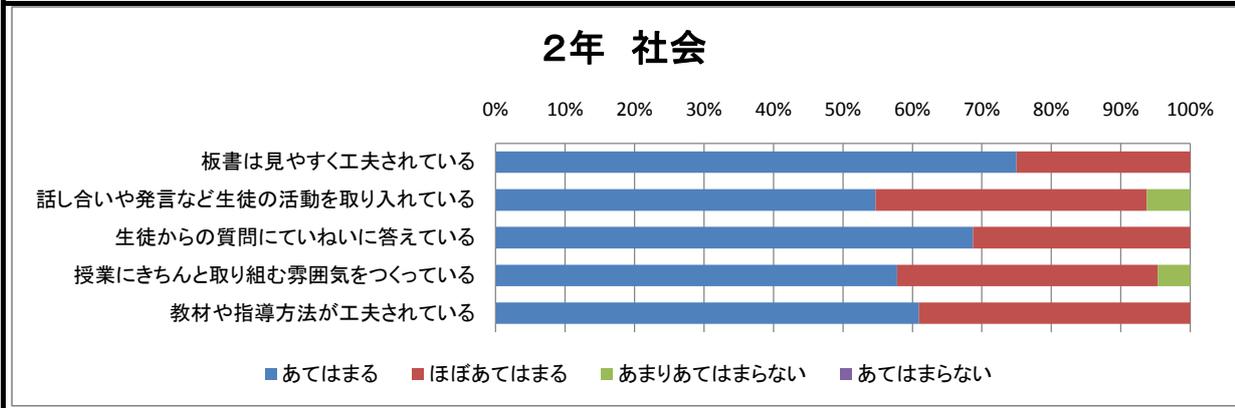
H30年度 第1学期 生徒授業評価アンケートより

| | | | |
|----|-----------|------|---------------------------------|
| 教科 | 社会 | 重点目標 | 基本的な知識・理解を定着させ、思考力・表現力を高める授業づくり |
|----|-----------|------|---------------------------------|

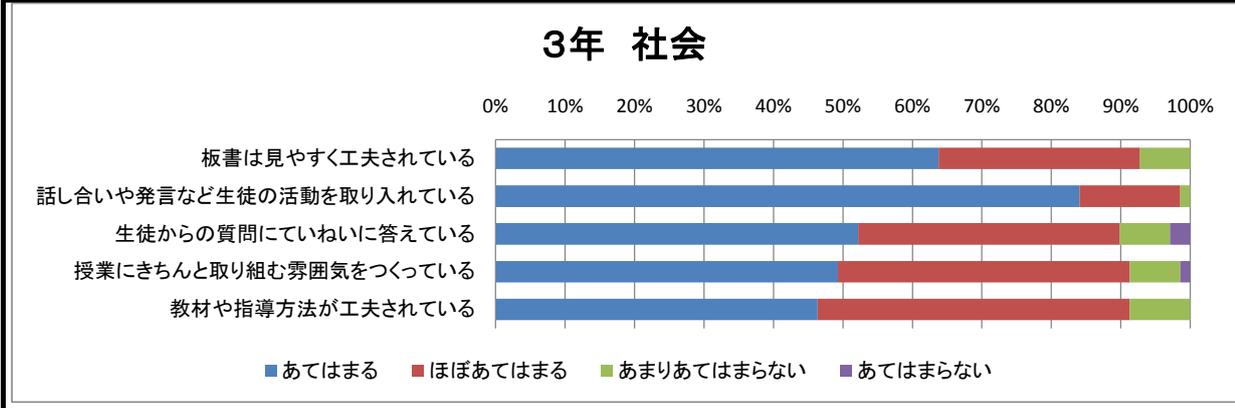
学習指導に関する現状と課題(一学期・生徒による授業評価アンケートより)



分析 抽出した2クラスの評価に大きな差異が見られた。今年度は話し合いなどを多く授業に取り入れようとしているが、話し合いが活発に行われないクラスのほうが評価が低くなっていた。4人班の班編成や個々の能力に応じた資料提示の工夫、活動時間の設定の見直しなどを通して、生徒が主体的に取り組める環境をつくる必要があると考えられる。



分析 教師と生徒のやり取りを広げることで、教師と学級の生徒たちという形で授業を行っているため、生徒同士での話し合いの場面が少なくなったことが、同項目に「あまりあてはまらない」の割合が生じた理由と考える。しかし、生徒たちの意見や考えを正面から受け、応答することで、生徒からの質問には丁寧に答えられたように感じる。その一方で、生徒たちの発言を丁寧に拾えないときもあり、それが「授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている」の項目に「あまりあてはまらない」が生じた原因と考える。



分析 今年度は話し合い活動を多く取り入れるようにしているので、その部分の評価は高くなっていると思う。今後も話し合い活動や生徒が活動できるような教材の工夫をし授業を行っていきたい。一方で、生徒からの質問に答えることや授業の雰囲気作りは、「あてはまらない」と答えている生徒がいるので、2学期は生徒の質問に丁寧に答えたり、授業の雰囲気作りを気にかけて授業を行っていきたい。